

(3) 学習過程 (※太字部分は、「コミュニケーションの深まり」と「個々のがんばり」を目指した部分)

時間	学習活動	指導の手立て及び留意点				準備物	配置図
10分	1 登校準備 (個別) ・健康観察 ・水分補給 ・顔や手の清拭 ・身だしなみ ・係活動の準備 <朝の活動の動き> A 病室→北2洗面所→訓練室 B 病室→北2洗面所→訓練室 C 病室→訓練室 D 病室→訓練室	A【T2】 ・学校の始まりを意識できるように、身体に触れながら挨拶をしたり、言葉を掛けながら顔や手を拭いたりする。 ・今日の天気を意識できるように、窓の側に行き景色を見る。教材を提示しながら、児童と一緒に天気を確認する。 ・眠そうにしているときには、覚醒を促すように歌に合わせてマッサージをする。	B【T3】 ・登校を意識できるように、顔拭きと手洗いをを行う。手洗いは、水の冷たさや温かさに驚かないよう、教師と一緒に指先から徐々に濡らす。 ・時間割をボードに貼るときは、生徒と一緒に1枚ずつ授業を確認しながら行う。	C【T1】 ・学校の始まりを意識できるように、元気に挨拶をしたり、言葉を掛けながら病室から移動したりする。 ・自分の係活動を早めに意識出来るように、iPadの画面の見せながら行う。	D【T4】 ・学校に行きたい気持ちを発声で表すことができるよう、「おはようございます。学校、行く？」と問いかけ、発声を待つ。 ・高揚感で緊張が強いときは、体の力を抜くことが出来るように他の児童生徒と少し間隔をあけて顔の清拭や水分補給を行う。	タオル エチケットグッズ 朝の会の道具 水分	
5分	2 朝の体操 ・『きのこの歌』に合わせて体操する。 ・Dが集合を呼び掛ける。	・朝の会が始まる5分前に【T1】がDと【T4】に言葉を掛けて、体操の活動に入ることを知らせる。 ・Dが手本役となるように、【T4】と一緒に前に出て、扇型の配置になって体操をする。 ・心身の覚醒を促すように、表情や体調を見ながら身体のタッピングやマッサージに強弱をつける。 ・発声や表情の変化等がみられたら、気持ちを読み取って言葉で代弁したり共感したりする。 ・担任以外とも触れ合えるように、曲の途中で教師が隣の児童生徒に移動して一緒に体操する。				CDラジカセ CD パーティション 延長コード	
30分	※体操後、定位置について道具等を準備する。 3 朝の会 【当番：C】 (1) 朝の挨拶 挨拶係：(D) (2) 朝の歌『あしたははれる』 音楽係：(D) (3) 天気の確認 発表係：(A) (4) 日付の確認 発表係：(C) (5) 呼名・健康観察 (6) 今日の予定 発表係：(B) (7) 今月の歌『たのしいね』 (8) 掛け声	・友達の顔や様子が見やすいように円になって向かい合う配置にする。 ・係活動に取り組みやすいように、教材を手元や近くに設置する。 ・自分の出番に気付いたり友達とのやり取りを楽しんだりできるように、司会(C)が係カードを準備する。 ・係活動の時はそれぞれの自発的な動きや気持ちの表出を待つ。状況に応じて、言葉を掛けたり身体を軽くトントンと叩いたり、演示して見せたりして手や腕の動きを促す。 ・顔を上げて友達や教師を見ることが出来るように、車椅子の角度を直角より少し後ろに倒したり、友達や教師の様子を伝えたりする。 ・天気の発表では、自分の係に気付くように、使うときだけ教材をテーブルの上に置く。自分で触ろうとしないときは活動に見通しがもてるように教師が演示したり、一緒に触ったりして自発的な手の動きを待つ。 ・眠そうにしているときには、覚醒を促すように身体をタッピングしたり、歌に合わせて身体を動かしたりする。 ・友達の挨拶や係活動のときは、友達の声や様子に目を向けられるよう、静かに見守る。発表者に意識が向いていないときは、友達のいる側から「○○さんが発表しています」と言葉掛けする。 ・今日の予定の発表では、腕を動かしてボードを持ち上げることが出来るよう、腕をさすりながら言葉掛けする。腕を動かさそうとしないときは、言葉掛けしてから一緒に行う。 ・生徒が司会であることを意識できるように、進行しながら口元をタッピングして発声を促したり、肩や腕に触れながら話したりして一緒に進行する。呼名の順番を決める時に発声による意思表示がない場合は顔写真を用いて視線や顔の向きで気持ちを伝える。 ・日付の発表では、見やすいようにiPadを立てて提示する。左腕を伸ばさない時は、右手に近づけて指の動きを待つ。 ・友達の様子を見たり声を聞いたりして笑ったときは、気持ちを読み取って言葉を掛けたり周りに伝えたりする。 ・周囲からの視線を意識しながら発声することができるよう、おでこを支え、頭が下がらないようにする。思うように声が出ず、息を吐いた場合は、周囲に発声しようとしていたことを伝える。 ・リモコン係では、自分で操作したと実感できるように、手元の動きが見える位置にスイッチを置く。うまくスイッチを押せないときには、位置を調整したり、教師が手を取りスイッチの位置を確認したりする。 ・周囲を意識して笑顔や発声が見られたときには、共感的な言葉掛けをする。				パーティション 会次第 係カード 当番表 歌詞カード リモコン iPad 天気教材 顔写真 予定表 案内板 プレイバンド iPadタッチャー	

(4) 評価の観点

<児童生徒> ・個々のねらいは達成できたか。

<教師> ・自発的に活動する姿が見られるような教材の工夫や状況作りができたか。
 ・集団の楽しさを感じたり友達を見たりする場面の設定や配置の工夫ができたか。